

問題文

- 14 打者は死球により安全進塁権を認められたが、一塁に向かうことが不可能であると思われるケガを負った。この場合、その打者が一塁に触れるまでは、控えのプレーヤーに交代することはできない。 (x)

回答

参照

5.12タイムの宣告(b)

(3) 突発事故により、プレーヤーがプレイできなくなるか、あるいは審判員がその職務を果たせなくなった場合。 プレイングフィールドの外への本塁打、または死球の場合のように1個またはそれ以上の安全進塁権が認められた場合、走者が不慮の事故のために、その安全進塁権を行使することができなくなったときは、その場から控えのプレーヤーに代走させることができる。

(8) 審判員はプレイの進行中に、“タイム”を宣告してはならない。ただし、(2)項、または(3)項後段に該当するときは、その限りではない。

問題文

- 15 1アウト、走者一・三塁。第3ストライクを捕手が落球した。これを見た三塁走者が本塁へ向かったとき、打者が捕手の守備を明らかに妨害した。2アウト、走者一塁・三塁となる。 (x)

回答

参照

6.01(a)打者または走者の妨害(1)[注]②

第3ストライクの宣告を受けて 5.09(a)(2)または同(3)で**アウトになった打者が、三塁走者に対する捕手の守備動作を明らかに妨害したときは、6.01(a)(5)によって三塁から走ってきた走者もアウトにする。**

※ 6.01(a)(5)

アウトになったばかりの打者または走者、あるいは得点したばかりの走者が、味方の走者に対する野手の次の行動を阻止するか、あるいは妨げた場合は、**その走者は、味方のプレーヤーが相手の守備を妨害(インターフェア)したものであるとして、アウトを宣告される。(5.09(a)(13)参照)**

【解説】したがって打者三振で2アウト。三塁走者守備妨害で3アウト。一塁走者残塁で攻守交替とする。